



日本医療福祉生活協同組合連合会

東日本大震災支援ニュース No.31

(2011年4月1日 19時現在)

被災地の医療福祉生協の状況

○八戸医療生協

31日、職員3名が地震で被災された方々へのお見舞い訪問。八戸市江陽の組合員宅など7軒を訪問しました。

○松島医療生協

デイケアが7名の利用者で再会。訪問リハビリも新規利用者が9名増加。3月の訪問看護回数は約200回と前回とほぼ同じ水準に。4月5日胃内視鏡検査を出来るように準備。理事と組合員が3チームに分かれ80件の地域訪問、個人宅清掃2軒に延べ4名が参加。(3月31日付松島医療生協理事会ニュースNo.6より抜粋)

○福島医療生協

30日、震災後初の理事会を開催、通常議題に加えて、被災の状況や対応が報告されました。31日、福島市医師会の要請を受けて、小児科医が避難所で2歳から14歳の子供を診察。27日には戸ノ内班6人、30日古屋敷班8人が参加し、班会を開催。地震発生時の状況や困っていることなど一人ひとりが話しました。4月1日には、入協式と辞令交付式を実施(写真右)。(3月31日付、東日本大震災対策ニュースNo.16より抜粋)



○福島中央市民医療生協



近隣避難所への支援を継続しています。避難所になっている南高校に、健康チェックとともに食事を提供しています(写真左、中央)。食事の提供には組合員や学生な

ど多くの方が関わっています。

また、提供する食事のメニューと健康相談を行っていることを記載したチラシを作成し、避難所へ配布しています。

4月1日、入協式を行い、医師1名、介護職1名、事務職3名に辞令を交付、新たな職員を迎えました（写真右）。

○郡山医療生協

避難所で主食の手配がつかず、急遽、医療生協で300人分用意することに。理事と組織部が中心となって、病院の厨房で100人分、組合員20人に10合ずつ焚いてもらえるよう手配し300人分の食事を提供。建物が崩れかかって避難を余儀なくされている大玉村の施設へ、紙オムツ、タオル、衣類を送付。（3月31日付宮田専務理事からの電子メールと4月1日付対策本部ニュースより抜粋）

支援状況

○利根保健生協

群馬県の要請を受け、医師1名、看護師2名含む4名の医療支援第4陣が3月28日より31日まで宮城県本吉郡南三陸町へ。また、物資支援として、福島県いわき市浜通り医療生協へ飲料水1箱（500ミリリットル24本入り）100箱を3月30日に発送。29日に片品村よりバスで地震による被災者（避難者）53名が来院し各科を受診。

（3月31日付、東日本大震災対策本部ニュースNo.8）（3月30日付利根中央病院情報）

○長野医療生協



3月31日、長野駅前では30分間の震災支援の街頭募金を理事と職員26人で行い、3万5328円が寄せられました。職員3名が4月2日、第9陣医療支援として、松島医療生協の松島海岸診療所へ。（3月31日付東日本大震災・信越地震支援ニュース⑥より抜粋）

○医療生協さいたま



福島県からの避難者に赤ちゃん誕生の報を受け、マスコミ11社が取材に訪れました。福島から自主避難され3/26に出産されたご夫婦、主治医（神谷理事長）、助産師同席の元、母子への負担も考慮して短時間の会見を協同病院の会議室で行いました（写真）。

ご夫婦は、同じ妊婦で避難してきている人へのメッセージとして「ひとりじゃない。医師や看護師、周りの人がきっと支えてくれる。頑張って」とエールを送りました。（3月31日付、東日本大震災対策本部ニュースNo.21より抜粋）

○川崎医療生協

「義援金ご協力のお願い」のチラシを作成し、組合員に義援金を呼びかけています。

3月25日現在、488名の方から、250万円近い義援金が寄せられています。(3月31日付、東日本大震災対策本部ニュースNo.24より)

○大東四条畷保健生協



31日近隣のスーパーマーケットの前で義援金の訴え。4月10日から被災地にスタッフを派遣するデイセンターと診療所から多くの職員が参加し、組合員も含めこれまで最高の20人が参加。義援金は1時間で26,690円に。(4月1日付「春よ来い! ニュース」No.9)

○尼崎医療生協

3月31日までに、486万3027円の義援金が寄せられ、うち450万円を医療福祉生協連の義援金口座に振り込み。(4月1日付東日本大震災救援ニュースNo.16より抜粋)

○広島中央保健生協

3月31日(木)に支援物資を郡山医療生協に21箱、浜通り医療生協に37箱、合計58箱を送付。内訳は、医薬品ソルデム500m1等の補液、医療材料、オムツ、日用品、台所用品、カイロ、子ども服等。引き続き寄せられている支援物資は広島県を通じて被災地へ届けるよう準備中。(4月2日付支援対策ニュースNo.17より抜粋)

○鹿児島医療生協

3月14日から職員、組合員で義援金に取り組んでいます。院所窓口に募金箱を設置3月30日までに148万7004円のご協力をいただきました。

義援金とは別に、6つの重点支援生協へ支援金として3月31日に100万円を送付。

3月14日～17日、3月18日～22日に医師1名、看護師1名、事務1名を派遣。また、3月30日からはJMAT医師1名、看護師1名、理学療法士1名が参加し、第3陣として2日まで活動(延べ9名、36日間)。さらに第4陣として4月6日からの医療支援派遣を調整しているほか、分娩など産科病棟支援として助産師1名の4月8日～19日の長期支援を予定。(3月31日支援ニュースNo.6)

担当：江本 (at_e@hew.coop)・丸山 (kj_m@hew.coop)

電話：03(4334)1580、FAX：03(4334)1585